3.11を忘れない
INORINO KIZUNA
祈りの絆

第53号　2020年7月15日 全国発送

日本バプテスト連盟東日本大震災被災地支援委員会　http://www.bapren.jp

【震災募金口座】　振替　００１４０－９－１８０８８１
宗教法人日本バプテスト連盟総務部

「新型コロナ緊急事態宣言」から示されたこと

野中宏樹（鳥栖キリスト教会）

新型コロナウィルスがもたらした危機は、私たちの生活様式を大きく変えてしまう出来事となりました。今やマスク、手洗いうがいは欠かすことの出来ない生活習慣となりました。また、「ソーシャルディスタンス」という言葉は、小学生でも理解するところとなりました。安倍晋三首相は「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づき、４月７日、７都道府県に「緊急事態宣言」を発出し、４月１６日にはその適用範囲を全都道府県に拡大しました。５月２５日に「宣言」は解除されましたが、今なお感染の広がりは見られ、私たちは不安の中を歩まざるを得ない状況下にあります。この間、諸教会では、インターネットを用いるなど、礼拝の形態を工夫しながら、祈りつつ歩んで来られたと思います。鳥栖教会においても、初めてインターネットの同時配信礼拝を始めました。この危機の中の歩みの一方で、私はもう一つの「緊急事態宣言」が発令中であることを決して忘れてはならないと思いながら過ごしてきました。東日本大震災の発生から５時間もたたない２０１１年３月１１日午後７時３分、当時の管直人首相は、「原子力災害対策特別措置」に基づき原子力緊急事態宣言を発令しました。こちらの「緊急事態宣言」は、この原稿を書いている２０２０年７月９日現在においても、「解除」されることなく、今なお東京電力福島第一原子力発電所で起きた壊滅的事故に伴う「緊急事態宣言下」に日本はおかれています。例えば、１号基から３号基の使用済み燃料プールと、原子炉内に送り込まれている冷却水が何らかの原因で止まったり、喪失したりすれば、核燃料は空気にさらされたちまちのうちに放射性物質を放出し、汚染が東日本全体を覆ってしまうことにもなりかねません。このもう一つの緊急事態宣言下にある２０１１年３月以降、フクシマ（範囲を県境など行政単位で示すことができないので私はあえてカタカナで呼びます）の子どもたち、大人たちはどう日々を過ごしてきたでしょうか。コロナウィルスと同じように、見えもせず、味もせず、色もない「放射能」に不安を抱きながら、暑い日も、雨の日も、風の日も、部屋の中でも、連日マスクを着用し、手を洗い、食べるもの、飲むもの、着るもの、住むところ、過ごす場所、遊ぶ場所、生活の中のあらゆる場面で、選択を迫られてきました。このような日々の疲れは様々な形になって噴出してきました。今回のコロナ危機で私は改めて、考えさせられています。私たちの社会は、驚くべき「忘却力」と「想像力の欠如」そして「自分中心力」の中に浸されてしまっています。この流れに抗するためには、「記憶力」と「想像力」そして「共生力」を培ってゆく以外にないのではないかと思います。新型コロナウィルスの恐怖は、多分ワクチンや、特効薬の開発によって解消される方向に向かうでしょう。けれども、放射能の破壊力は、私たち人間の営みをはるかに超えるものであることを心に留めておきたいものです。

「原子力緊急事態宣言」と向き合う福島の今と教会の歩み

大島博幸（福島主のあしあとキリスト教会）

新型コロナウイル感染拡大による緊急事態宣言で、個人も教会も様々な制限を受けました。宣言が解除されても、各地域で今も慎重な行動が求められています。その中でも、被災地では着々と「復興」の取り組みがなされています。３月１４日、放射線量の高い帰還困難地域で不通だったＪＲ常磐線富岡⇔浪江間20.8㎞が開通、夜ノ森（富岡町）、大野（大熊町）、双葉（双葉町）の３駅と周辺の避難指示が解除されましたが、原子力緊急事態宣言は継続中です。先日、夜ノ森駅と双葉駅を訪ねました。両駅とも橋上化した新駅舎で、除染された駅内の空間線量は夜ノ森駅で0.186μSv、双葉駅は0.083μSvでした。しかし駅周辺は今も帰還困難区域で、駅周辺の家々にはバリケードが続き、放射線量が高い状況です。また双葉駅に隣接する駐輪場に、移動制限で9年前の自転車が50台以上放置されていました。新駅とバリケードに囲まれた家屋、放置された自転車、新しいものと古いものとが混在する光景に、被災地の深い痛みと重さを感じました。

福島主のあしあと教会では、毎年旧旭町教会の「草むしり」を行います。今年も6月20日（土）午前5時に集合し、作業をしました。前任家族が今も旧教会の向かいで塾や学童等をしていて、出会わない時間での作業です。旧教会を出て6年、庭には色々な草や幼木が生え、会堂も牧師館も傷み始めています。近隣に迷惑をかけないよう、奔放に伸びた枝を切り、茂る草をむしり、整え作業を続けています。旧教会は現在「売り物件」として公開中です。売却ができて、心から賛美し、祈り、学び、礼拝を献げる場所が与えられるよう祈っています。

5月に、オリジナル賛美CD「Gifts」を各教会にお届けしました。旧教会を出て、手探りで礼拝を献げてきた中、教会員の伊藤友希子姉が作詞・作曲した賛美が、一人ひとりの受けた苦しくつらい経験を支えました。まだその痛みや苦しみは消えませんが、賛美によって前に進み、希望へと導かれています。

地震、津波、原発事故という複合被災地の福島。その福島にある、あゆみの家教会、郡山コスモス通り教会、福島主のあしあと教会のバプテストの群れをお覚えください。

2019年度震災募金は612万円（目標400万円）をお献げいただきました。こころから感謝申し上げます。

募金者166名・件、内2019年10月～2020年3月には次の127名・件の方にお献げいただきました（受付順、敬称略）

筑波、丸亀城東町、日立、大分、古賀、豊橋、八幡、久保祐子、福間、品川、市川八幡、目白ヶ丘、大久保、赤塚、川越、仙川、目白ヶ丘、大村古賀島、市川大野クリスマスバザー、宮崎女性会クリスマス、姫路城西、恵、盛岡、大分クリスマス、横浜戸塚、かたえ、福間、八王子めじろ台、日立、学)若松神愛学園　神愛幼稚園、東福岡幼稚園、福岡南、光の丘幼稚園（神戸教会）、有田ゴスペルクワイア、船橋、金沢、東京第一、久保祐子、宝塚、直方、久保田君代（千葉）、前橋、四日市、若松、那覇新都心女性会、神戸、広島、飯塚、高知伊勢崎、伊集院、伊都、学）バプテスト希望学園：常盤台、府中、西南女学院中高宗教部、富士吉田、静岡、古賀、福岡西部クリスマス、浜松、仙台長命ヶ丘、港南めぐみ、学）西南学院、三島、関西連合女性会、目白ヶ丘、仙川、鳥飼、西南学院高等学校、岡山、福岡有田、ふじみ野教会青年会、菊池シオン、徳島、鳥栖、奈良、調布、学）西南学院、福岡連合女性会、福間、門司港、福岡城西、シオン山、清水栄光、久保祐子、松山西、筑紫野南クリスマス、那珂川、東北連合女性会、豊中、大分、日立、東京北、大井、大村古賀島、久保田君代、釧路地区市民クリスマス礼拝有志、千葉、大宮、伊丹、関西地方連合、福岡南、防府、浦和、学）西南女学院、伊集院、京都、別府国際、佐世保愛と平和のコンサート、若松、花小金井、東山、高崎、相模中央、神戸伊川、志村、豊橋、筑波、相浦光、恵泉、市川八幡、香住ヶ丘、福間、久留米、下関、野方、伊都、西川口、